

調達要求番号：12-05-1116-4211

情報本部仕様書			
物品番号		仕様書番号	
品名 又は 件名	国内委託教育（デジタル通信解析要員の基礎教育）	DIH-LD-23046	
		大臣承認	令和 年 月 日
		作成	令和5年10月23日
		改正	令和 年 月 日
			令和 年 月 日
作成	情報本部電波部		

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、情報本部で実施する国内委託教育（デジタル通信解析要員の基礎教育）の必要な事項について規定する。

2 教育に関する要求

2.1 要件

過去に3年以上、継続して**付表1**に規定する教育内容に対応する講座の開催実績があること。

2.2 教育内容

教育内容は、**付表1**による。

2.3 実施要領

- a) 教育の実施は、**付表1**に基づき、コース番号順に実施することを基準とする。ただし、やむを得ず教育内容の入れ替え及び総日数を変更することなく各コースの基準時間の増減が必要な場合は、事前に情報本部電波部の承認を得るものとする。
- b) 原則として、土日祝日の教育は実施しないものとする。
- c) 予定されていた教育が、契約の相手方の都合により実施できなくなった場合、振替え教育を行うこと。

2.4 教材等

契約の相手方は、教育に使用する器材、ソフトウェア及び資料（最新技術への対応及び経年劣化の修正を含む。）を受講人員分準備するとともに、専用の研修室を設けて講義及び実習形式により教育を実施すること。

3 成果測定等

3.1 素養及び適性の確認

教育期間中の期首に、受講者の各種スキルに関する素養及び適性の確認を行うこと。

3.2 成果測定

教育期間中の期末に、成果測定を行うこと。

4 実施計画書

契約の相手方は、契約後速やかに次の事項（基準）を記載した実施計画書を作成し、監督官の確認を得た後、10.1に基づき情報本部電波部に提出するものとする。

- a) 教育体制（講師名、使用予定の教材等及び実施予定場所）
- b) 実施日程（スケジュール）
- c) 実施要領（シラバス）
- d) 過去3年間の付表1に規定する教育内容に対応する講座の開催実績がわかる資料

5 成果報告書

契約の相手方は、教育終了後速やかに次の事項（基準）を記載した成果報告書を作成し、監督官の確認を得た後、10.1に基づき情報本部電波部に提出するものとする。

- a) 実施日程（スケジュール）
- b) 実施内容（実施日時、講師名、使用した教材等及び受講者の出席・履修状況）
- c) 成果測定等の結果

6 受講人員

受講人員は、調達要領指定書による。

7 教育場所

教育場所は、調達要領指定書による。

8 教育期間等

教育期間及び時期は、調達要領指定書による。

9 品質保証

9.1 監督・検査

監督及び検査については、支出負担行為担当官等が定める監督及び検査実施要領による。

9.2 その他

官側は、契約の相手方での教育について、必要の都度、現場確認を実施するものとする。

10 その他の指示

10.1 提出書類

提出資料は、表1のとおり。

表1－提出書類

番号	資料名	提出期限	提出先	数量	媒体
1	実施計画書	契約締結後、速やかに	情報本部電波部	1部	紙
2	成果報告書	教育終了後、速やかに	情報本部電波部	1部	紙

10.2 仕様書の疑義

契約の相手方は、本仕様書に疑義が生じた場合は、速やかに支出負担行為担当官等と協議するものとする。

付表1－教育内容

分野		コース		内容と目標	基準日数
A	成果測定等	1	素養及び適性の確認	<p>内容：</p> <p>(1) 素養・適性及び行動特性を測定し、自身の特徴を把握する。</p> <p>(2) 社会人基礎力（経済産業省が提唱する社会人として必要な基礎的な力）に関するスキルを把握する。</p> <p>(3) ITに関するスキルを把握する。</p> <p>目標：</p> <p>(1) 素養・適性と行動特性の相違から自身の可能性を確認し、目指す人材像をイメージできる。</p> <p>(2) 「前に踏み出す力」, 「考え抜く力」及び「チームで働く力」の3つの能力に関する弱み及び強みを知ることにより、自身のキャリアパスをイメージできる。</p> <p>(3) ITに関するスキルを把握し、じ後、重点的に学習すべき分野を理解できる。</p>	1日
B	IT基礎	2	コンピュータ基礎	<p>内容：情報処理に必要となる基礎知識を学習する。</p> <p>目標：</p> <p>(1) コンピュータの動作原理や情報システムの仕組みを説明できる。</p> <p>(2) 情報のデジタル化とアルゴリズム, ハードウェア, ソフトウェア, ネットワーク, データベース及びセキュリティに関する基本を説明できる。</p>	5日
C	ネットワーク技術	3	ネットワーク基礎	<p>内容：コンピュータネットワークで利用される技術や、コンピュータネットワークの構築に必要な基礎知識を総合的に学習する。</p> <p>目標：</p> <p>(1) LANの構成要素（ハード/ソフト）を説明できる。</p> <p>(2) OSI基本参照モデルに対応したネットワークの基本動作を説明できる。</p> <p>(3) イーサネット, IPv4, TCP/UDPの基本を説明できる。</p>	2日
		4	ネットワークインフラ	<p>内容：PC, LANスイッチ, ルータの基本的な操作を通して、ネットワークの基礎知識及びネットワーク構築の基礎技術の理解を深めるとともに、スイッチ, ルータを用いた構築演習を実施する。</p> <p>目標：</p> <p>(1) PC, LANスイッチ, ルータの基礎的な設定ができる。</p> <p>(2) スタティックルーティング, RIP, OSPF, 経路冗長化, フィルタリング等, 小規模ネットワークにおけるルーティングを設定できる。</p> <p>(3) VLAN, 冗長化, ルーティング, フィルタリング等, L3スイッチによるネットワークを構築できる。</p>	3日

付表 1－教育内容（続き）

分野		コース		内容と目標	基準 日数
C	ネットワーク技術	5	ネットワークプロトコル解析	<p>内容：ネットワークプロトコルの動作とインターネットサーバの動作概要について理解するとともに、プロトコルアナライザを用いて TCP/IP のシーケンスを視覚的にとらえることで、TCP/IP の内部的な動作を学習する。</p> <p>目標： (1) DNS プロトコルの動作と基本的なメッセージを説明できる。 (2) SMTP/POP3 の動作と基本的なメッセージを説明できる。 (3) HTTP の動作と基本的なメッセージを説明できる。 (4) TCP/IP の各パラメータと内部の動作を説明できる。</p>	2日
D	サーバー技術	6	UNIX/Linux 基礎	<p>内容：UNIX 及び Linux の基本機能とコマンドの基本操作について、実機演習を通して学習する。また、シェルスクリプトの作成に必要なプログラミング技術を習得するとともに、シェルの機能を学習する。</p> <p>目標： (1) UNIX/Linux の基本的な設定を操作できる。 (2) ネットワークの基本コマンドを実行できる。 (3) 各種基本操作、各種制御文及び関数を利用した簡単なスクリプトを作成できる。</p>	6日
E	設計	7	UI/UX デザイン	<p>内容：人間中心設計（HCD）の考え方、システム及びソフトウェア品質である SQuaRE（ISO/IEC25000 シリーズ）の概要、UI/UX の基本について理解するとともに、業務への UI/UX の手法の適用方法を学習する。また、自身の発想から意見の取りまとめの方法について、グループ演習を通じて学習する。</p> <p>目標： (1) UI/UX の概要を説明できる。 (2) 利用者の視点からの課題の発見方法を説明できる。 (3) 利用者の視点からのデザインの各種手法を説明できる。 (4) 品質測定のためのユーザビリティテストの設計及び実査方法を説明できる。</p>	2日

付表 1－教育内容（続き）

分野		コース		内容と目標	基準 日数
F	プログラミング	8	アルゴリズムとPythonプログラミング	<p>内容：プログラミングに必要な各種アルゴリズムの基礎について、フローチャートを用いた演習を通して学習する。また、Pythonの基本的な文法を学習し、プログラミング演習を通じて理解を深める。特に、Pythonについては、関数定義や標準ライブラリを利用したプログラミングの方法を学習する。</p> <p>目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) フローチャートの処理記号を説明できる。 (2) 探索（逐次探索，二分探索）のアルゴリズムを説明できる。 (3) 条件分岐や繰り返し，メソッドを含むプログラムの作成方法を説明できる。 (4) フローチャートから算術計算（合計と平均，最大値，最小値等）を求めるコードを作成できる。 (5) Pythonの基本文法を説明できる。 (6) 簡単なスクリプトをPythonで書くことができる。 (7) Pythonの標準ライブラリを利用し，典型的なスクリプトを作成することができる。 	8日
A	成果測定等	9	成果測定	<p>内容：教育内容の習得状況を把握する。</p> <p>目標：自身の教育内容の習得状況を数値（点数）により，可視化できる。</p>	
G	その他	10	総括	<p>内容：成果測定等の結果及び教育内容を振り返り，今後の業務及びキャリアに関する目標の設定する方法を実習形式にて学習する。</p> <p>目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 自身の習得状況及び客観的な評価を理解できる。 (2) 自身の業務及びキャリアに関する目標の設定する手法を説明できる。 	1日
計					30日

調達要領指定書	発 簡 番 号	
	調達要求番号	12-05-1116-4211
	調達要求年月日	令和5年 11月 16日
	作 成 部 課	情報本部電波部
	作 成 年 月 日	令和5年10月23日
品 名	国内委託教育（デジタル通信解析要員の基礎教育）	
仕様書番号	D I H - L D - 2 3 0 4 6	

指定事項：

6 受講人員

5名

7 教育場所

東京都23区内，神奈川県川崎市内，神奈川県横浜市内又は埼玉県さいたま市内

8 教育期間等

a) **教育期間**は，30日間とする。

b) **教育時期**は，令和6年1月10日（水）から令和6年3月15日（金）までの範囲とし，契約締結後に官側と調整するものとする。